



ものは言いようで
通す世田谷区長は
あの首相と同じ？

<https://ooba110ban.net>

第63号 2020年3月



台風19号、完全に見誤っていた 保坂区長（災害対策本部長）



初動体制に
遅れがなければ
また、あらゆる
想定をしていれば
こんなことには
ならなかったはず

当時のカレンダー

10日 (木)	11日 (金)	12日 (土)	13日 (日)
災害対策本部立ち上げ	?	台風被害増大	台風被害増大
JR私鉄計画運休発表		台風被害増大	台風被害増大
台風19号襲来 10月10日～13日			

2月19日日本会議おおば質問で明らかに！

区長 初動体制が遅れたのは電車が運休になり職員招集が間に合わなかったから。

おおば 運休を知ったのは10日木曜日ではなかったのか？対策を打てたのでは？

区長 雨台風とは思っていなかったもので、初動体制を手厚くしなかった。台風後の作業に備えていた。あらゆる想定をしていなかった。

質疑要旨

検証
台風19号



10月18日朝日新聞

「被害のほど」には訳がある

特に保坂区長の場合

2月19日の保坂区長の答弁書き起こし

台風19号の対応としては、台風15号における千葉県の被害を考慮して、規模が大きくて風が強いということを想定し、風の通過後の道路に落ちた散乱物の対応などの台風通過後の体制ということに若干人員のシフトを置きすぎたということとは否めないものと考えています。そのため、今後は、大規模災害発生時にあらゆる事態を想定して、私がリーダーシップを発揮し、これまでの災害対策の見直しを進め、しっかりと対応してまいります。



※記事では区の担当者が「もう一段積みたかった。用意が追いつかなかった」と悔やんでいるのに、保坂区長は「土嚢があれば防げたかどうかはわからない」と！

おおば正明の「ウラ読み」

●災害の記憶は時間の経過とともに、その前後関係が不明になりがちです●今回は、そのドサクサをいいことに、初動体制の遅れの「理由」を公共交通機関の計画運休としていたことの保坂区長の偽りを喝破●当時の記録を点検すると、上記カレンダーのごとく10日（木）の段階で、保坂区長は計画運休のことは知っていました。なぜならツイッターで自分から発信していたからです●つまり11日（金）はまるまる1日、対策を立てるなり、上記、朝日新聞が伝えているように、足りない土嚢（どのう）を他自治体等から借りる等、出来たはずですが●逆に言えば、その時間を与えるのが「計画運休」の目的でもあるのです●災害と

云っても台風の場合は首都直下地震と異なり、一番想定ができるはずですが●結局、保坂区長は、初動の遅れを「計画運休」のせいに出せずに、想定を甘さを認めたのです（上記書き起こし・ずいぶんまどろっこしい表現ですが）●ある管理職は「非常招集」もかからなかったことをビックリしたそうです●保坂区長の個人の防災能力は、別としても、5千人からなる区役所パワーを結集できなかった点は大問題だと思います●実際の保坂区長は自分のツイッター発信に夢中で、区長としての指示をおろそかにしていたのは事実でしょう●もちろん世田谷区のホームページがアクセス不能となったのも大失態ですが、危機管理室のツイッターと競うように自分からの発信を続けた結果、最後に大失敗をしてしまったのです。

保坂ツイッター誤報流す

●災害対策本部長がツイッター発信に夢中というのはどうでしょうか？しかも、そのツイッターは世田谷区の公式ツイッターではありません●ハザードマップが必要なら危機管理室の公式ツイッターに指示して発信すれば足ります●自分の（個人の）ツイッターで発信しているのは、保坂展人氏の「政治活動」であり、フォロワー獲得の一環であることは明白です●世田谷区が災害に見舞われている最中にも政治活動（選挙対策）にうつろを抜かすとは・・・●もちろん他の自治体の首長は台風が来ている時に個人のツイッターなどしません●しかも世田谷区長としての判断である「避難勧告解除」を勝手な思い込みで、誤情報としたのです。